

2020年度 環境経営レポート

対象期間

2019年9月～2020年8月

2020年10月26日

昭和ネームプレート株式会社

事業活動の概要

- (1) 会社名 昭和ネムプレート株式会社
- (2) 代表者 代表取締役社長 大熊浩和
- (3) 設 立 1957年（昭和32）4月29日
- (4) 資本金 1,000万円
- (5) 事業内容 ネムプレート・パネル・ラベル、樹脂・金属の
プレス加工品の製造及び販売
- (6) 事業規模 年間売上 約501百万円（2020年度実績）
従業員 40名
- (7) 本社所在地 東京都荒川区荒川6-52-10
TEL 03-3892-4221（代） FAX 03-3892-4222
- (8) 審査対象工場 昭和ネムプレート株式会社 埼玉工場
埼玉県越谷市蒲生3882-1
TEL 048-988-7611（代） FAX 048-986-6261
E-mail hasegawa@showa-np.com
レイクタウン工場【2018年5月にEA21拡大申請済み】
〒343-0825
埼玉県越谷市大成町7-449-1
- (9) 工場規模 延面積 約1,089㎡
- (10) 環境管理責任者 代表者 代表取締役社長 大熊浩和
管理責任者 吉岡 靖夫

環境経営方針

昭和ネームプレート株式会社は、事業活動において

- ① ユーザーの要求を満足し、信頼される製品を作る。
- ② 地域社会の環境保全が地域の発展及び共存の上で重要である。を理念に可能な限りの範囲で目標を定め、省資源、省エネルギー、リサイクルを推進し、環境負荷に配慮した活動を実行します。それらをふまえ下記に環境経営方針を定め継続的に改善します。

1. 産業廃棄物のリサイクル化の強化及び削減の推進
2. 電気・ガソリン・ガス等のエネルギーの削減
3. 水資源の節水
4. 化学物質の適切な使用と管理
5. 環境関連法規制等の遵守
6. 顧客が要求する環境基準を厳守した製品の製造
7. 長期的にエアコン入替えの推進

2020年9月23日
昭和ネームプレート株式会社
代表取締役 大熊 浩和

<改訂記録>

改定日	改定内容
2019/9/20	グリーン購入の推進が徹底がされたことにより、「グリーン購入の実施」を削除
2019/9/20	LED照明の導入が完了したことにより、「長期的にLED照明の推進」を削除

2021(令和2)年度及び中期環境経営目標

			2020年度 2019.9～ 2020.8 (目標.実績)	基準年度 2020年度 (実績) BM	2021年度 2019.9～ 2020.8 (目標)	2022年度 2020.9～ 2021.8 (目標)	2023年度 2021.9～ 2022.8 (目標)
二酸化炭素排出量の削減	CO2の削減	総量 (kg/年)	73960(目標) 67161(実績)	67161	66489 -1%	65817 -2%	65146 -3%
節水	総排水量削減	総量 (m ³ /年)	515(目標) 453(実績)	453	448(1%)	444(2%)	439(3%)
廃棄物量の削減	一般廃棄物削減	総量 (kg/年)	300(目標) 300(実績)	300	300(25/月)	300(25/月)	300(25/月)
	産業廃棄物の削減	総量 (kg/年)	13820(目標) 14522(実績)	14522	14376(1%)	14231(2%)	14086(3%)
	段ボールの再利用	再利用率 (kg/年)	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%
長期的にエアコン入れ替えの推進	消費電力の違いや電気料金の差額を調べる。			E A会議で検討し部長会議へインプットする。			

(電力：日本テクノ(株)2018年度調整後排出係数0.416 (kg-CO2/kwh) レイクタウン工場は東京電力(株)2018年度調整後排出係数0.455 (kg-CO2/kwh)の換算値を使用。)

- ① Co2排出量、総排水量、産業廃棄物は2020年度実績をBMとし、一般廃棄物は2020年度実績をBMとし維持管理とする。
- ② 中期目標は2023年度が終了した時点で中期目標の見直しをする。
- ③ この他に次のことに取り組みます。
 - ・化学物質を正しく使用し管理（棚卸し等）削減にむけて活動する。
 - ・埼玉工場と레이크タウン工場(プレス部) の実績を合算し活動する。

目標・活動計画と評価

対象期間(2019年9月～2020年8月)までの目標とその実績についての計画と評価

取り組み項目		達成状況	評価(結果と今後の方向)
二酸化炭素排出量の削減	電力・ガス・ガソリン等の削減	B. Mに対し-25% 目標達成 -17.5%目標に対し 達成率 133%	BMに対して-25%と削減できた。要因は各員のエコ意識の高まりと、5月に省エネタイプのエアコンを2台増設した効果が出たと思われる。今後も過度な節電をすることなく削減活動していきたい。
節水	総排水量の削減	B. Mに対し-12.5% 目標達成 0.4%目標に対し 達成率114%	総排水量については-12.5%削減することができた。効率の良い水使用を意識して活動してきた成果が出たように思える。来年度も印刷作業に影響しない程度に削減活動していきたい。
廃棄物の削減	産業廃棄物の削減	B. Mに対し+4% 目標未達成 0.4%目標に対し 達成率96%	産廃については在庫品の大量廃棄により僅かにオーバーしてしまった。毎年のことではあるが、材料ロスの少ない製法を徹底し各部協力して削減活動していく事が重要である。
化学物質の使用と管理	使用化学物質の種類を把握し正しく管理する。	社内にあるインクや溶剤等の使用状況・保管量を把握する。	棚卸し等の管理を行い、今迄以上の管理が出来た。今期も有機溶剤を安全に、正しく使用していく。
長期的にエアコン入れ替えの推進	消費電力の違いや電気料金の差額を調べる。	E A会議で検討し部長会議へインプットする。	エアコンを省エネタイプの機種に入れ替えをした。今後も経年年数の古い機種から入れ替えの推進をしていく。
<p>(総評) 今期は電気が前年度同期比と比べても大幅なマイナスとなりCO2の削減について大きな成果が出た。又、今期は5月にエアコンを2台省エネタイプの機種に入れ替えたことも影響していると思われる。まだ経過年数の古い機種が多数あり引き続き入替えの推進をしていく必要が有るだろう。又、スマートクロックの活用が根付いてきており日毎の最大デマンド値を把握できていることも要因としてあるだろう。産業廃棄物については+4%と僅かなオーバーとなり未達成になってしまったが、在庫等を大量に廃棄しており原因がはっきりしているため、許容範囲と思われる。製品の大型化によってプレス機の抜きカスが増加や、仕事量にも影響されるため、来期も削減活動が厳しいことが予測される事もありリサイクルの推進を強化していく事も重要である。総排水量については昨年度未達という結果であったが今年度は全ての月で目標達成することができたことは評価できる。来期も必要最低限の水使用を意識し活動していきたい。</p>			

環境関連法の遵守状況

環境関連法規等にとっとり、遵守しています。

「埼玉工場・レイクタウン工場に適用とする環境関連法規一覧表」を基にその遵守状況を評価した結果、遵守していることを確認した。また、過去5年間にわたって違反や訴訟は1件も発生していません。

昭和ネームプレート株式会社埼玉工場
代表取締役社長 大熊浩和
管理責任者 吉岡靖夫
2020.10.25

エコアクション21実施体制(役割・責任・権限)

役 割	責 任 及 び 権 限	備 考
代表者(社長)	<ol style="list-style-type: none"> 1. EA21の最高責任者とし全ての運用に付いての責任と権限を持つ。 2. EA21の実施、及び管理に必要な人・設備・費用・時間・技術者を提供する。 3. EA21環境管理責任者を任命する。 	
専務	<ol style="list-style-type: none"> 1. 代表者の補佐 2. 環境管理責任者への指示 	
環境管理責任者	<ol style="list-style-type: none"> 1. EA21の構築・運用 2. 環境経営・取り組み結果を社長・専務に報告をする。 3. 環境負荷の特定・環境への取り組みの把握と評価 4. 全体の環境経営目標の承認 5. 各部門目標の承認 6. 全体の環境経営計画の策定・実施状況のフォロー 7. 全社の環境経営管理の統括をする。 8. 環境関連法規制の改正及び遵守状況の確認 改正確認は環境省・埼玉県・越谷市ホームページ上、外部情報にて 9. 定期内部監査の実施のまとめ 	<p style="text-align: center;">3カ月毎の部門別確認</p> <p style="text-align: center;">マネジメントレビュー時の確認</p> <p style="text-align: center;">毎年1月末</p>
EA21事務局 (推進委員)	<ol style="list-style-type: none"> 1. EA21を構築し実施・管理をする。 2. 環境経営目標及び、環境経営計画を作成する。 3. 環境経営レポートの作成 4. 管理ファイル新年度分作成 5. 全体の環境経営計画の策定・実施状況のフォロー 6. 環境関連法規制の改正及び遵守状況の確認 改正確認は環境省・埼玉県・越谷市ホームページ上、外部情報にて 7. 化学物質使用量の把握 8. 定期内部監査実施 9. 環境への負荷の自己チェックシートの実施 10. 環境への取り組み自己チェックシートの実施後の協議 	<p style="text-align: center;">事務局長 事務局長</p> <p style="text-align: center;">3カ月毎の部門別確認 マネジメントレビュー時の確認</p> <p style="text-align: center;">マネジメントレビュー時の確認</p> <p style="text-align: center;">環境方針・環境経営目標等の見直し 適宜</p>
各部推進委員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自部門におけるEA21の実施 2. 自部門における環境経営方針の周知 3. 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 4. 自部門に関する環境経営目標、及び環境経営計画の実施、及び達成状況の報告 5. 自部門の問題点の発見・是正・予防処置 6. 環境関連法規制の改正及び遵守状況の確認 改正確認は環境省・埼玉県・越谷市ホームページ上、外部情報にて 7. 化学物質使用量計測 8. 環境への取り組み自己チェックシートの実施 	<p style="text-align: center;">マネジメントレビュー時の確認</p> <p style="text-align: center;">毎年8月末 マネジメントレビュー前(適宜)</p>
部門責任者	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自部門におけるEA21の実施 2. 自部門における環境経営方針の周知 3. 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 4. 自部門に関する環境経営目標、及び環境経営計画の実施、及び達成状況の報告 5. 自部門の問題点の発見・是正・予防処置 6. 防災訓練の実施 	<p style="text-align: center;">製造部長(消火隊長)</p>

<p>代表者によ評価 及び見直し結果</p>	<p>今年度は、コロナ禍の為後期については環境目標や活動計画に様々な影響がでた年度になった。CO2削減、節水については大きく目標を達成しているが特に後期に削減率がやや高くなっている傾向がある。特にガソリンなどは緊急事態制限による外出の控えにより大きく削減している。電気についてはエアコンの入れ替えによる効果もあるが、コロナ禍によりやや受注量減少したことも要因の一つといえる。来期に向けてはエアコンの入れ替えを継続的に実施し、さらなる電気使用量削減に取り組みたい。また残念ながら産業廃棄物の削減については目標を下回ってしまった。原因今期前半に在庫品廃棄処理を一斉に行ったことが大きい。また後期では、品証在宅勤務により未検査在庫の検査が大きく進み、検査後の不良品廃棄が大幅に増えたことも要因の一つである。来期に向けては、引き続き材料ロスが少ないもの作りの工夫、不良品の削減活動が大切である。また来期についてもコロナ禍はまだまだ続くと想定され、様々な仕事の質が変化すると思われる。ISO9001での取り組みでもあるが、仕事効率を上げることによりCO2削減につなげたい。</p> <p>来期の環境経営取り組み活動について、環境経緯方針・環境活動及び環境経営計画及び実施体制については、今期の取り組みの結果から効果が出ていると判断され、来期についても変更の必要はないと判断する。</p>
----------------------------	--